

20 フィリピン

地方通信施設拡充事業 III



本事業により設置された交換機施設

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	3,803百万円 / 3,557百万円
借 款 契 約 調 印	1993年8月
借 款 契 約 条 件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2000年12月

[事 業 概 要]

北部ルソン地域(リージョンI及びII)に電気通信施設を建設することにより、通信事情を改善し、もって地域社会・経済の開発に寄与するもの。

[評 価 結 果]

本事業により、デジタル交換機の新設・増設など通信網の拡充・整備と障害時における伝送路のバックアップ体制整備や、各種施設のリハビリによる通信施設の改善・修復が行なわれた。この結果、フィリピン北部のリージョンI及びIIにて6,250回線の電話設備容量の純増が達成された。しかし施設の利用率を見ると、加入者回線数は2,971回線であり、事業全体で46.9%の施設利用率となっている。この原因としては、ひとつの電話網に2つの電気通信事業者が混在することや民間の通信事業との競合などが挙げられる。一方、インパクトについては、町の経済発展やIT化による公共サービスの向上、家庭の通信事業の改善などの事例報告が出ている。

なお本事業の持続性については、運営・維持管理機関であるTELOFの財務面での不安要因が指摘されており、運営・維持管理体制の改善が必要である。